

2008年2月25日

東京外国為替市場委員会 第110回会合 議事録

開催日時	2008年1月10日 13:00～14:00
場 所	日本銀行本店 新館9階大会議室
議 長	井上 悟志
副 議 長	久保 浩一
副 議 長	梨本 忠彦
書 記	井上 哲也
出席委員	21名 (別紙)

## I. 小委員会活動報告

### 1. 運営小委員会

松尾小委員長より、1月30日に開催予定の年次総会における運営小委員会の活動報告について検討を行った旨、報告がありました。併せて、井上書記より、年次総会の概要について説明がありました。

井上議長より、電子取引の拡大とともに、Prime Broker を通じて非金融機関がインターバンク市場に事実上参加する状況が想定されるため、こうした新たな市場参加者に対して行動規範の周知や共有を促していくべきとの議論があることを踏まえ、本委員会として何らかのメッセージを発信することを検討していく方針である旨、報告がありました。

### 2. 教育小委員会

永谷小委員長より、きたる2月18日にフォレックスセミナーを開催し、講師として、メリルリンチ日本証券の吉川雅幸氏、財務省の中尾武彦氏を招聘する予定である旨、報告がありました。

### 3. 市場調査小委員会

久保小委員長より、東京外為市場の活性化に向けた本委員会としての取り組みとして、委員に対して行った同市場の現状に関するアンケートの結果を検討した旨、報告がありました。また、当小委員会として、本件に関する何らかの対外的な発信を行うことについても討議を継続していく方針である旨、併せて報告がありました。

#### 4. Code of Conduct小委員会

好川小委員長より、Code of Conduct の改訂作業に関し、①各サブグループによる ACI Model Code や各国の Best Practice 等との比較対照作業に目途が付いたこと、②これを受けて、近く小委員会全体での集中討議を行うこと、について報告がありました。

#### 5. 法律問題小委員会

小林小委員長より、NDF 取引のコンファメーションの電子化に関し、ニューヨーク市場委等が取りまとめた Master Agreement について CLS・土屋氏から説明を受けた旨、報告がありました。また、今後は、ニューヨーク市場委からの正式な申し入れがあった場合に、小委員会として対応を検討する旨、併せて報告がありました。

#### 6. BCP小委員会

岡林準委員より、東京金融取引所および金融庁に対して、被災時における外為 BCP の運営体制等に関する説明を行うとともに、各々、前者には客員、後者には関係当局としての参加を各々依頼した旨、報告がありました。また、本委員会議長名でドコモモバイル東海との間でシステムに係る契約を締結し、既に契約が発効している旨、併せて報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (1月10日現在)

<委員>

議長	○井上 悟志	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・市場調査小委員長	○久保 浩一	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(バークレイズ銀行)
書記	○井上 哲也	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリングリソースジャパン)
教育小委員長	○永谷 昌悟	(野村証券)
法律問題小委員長	○小林 正史	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNPパリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
Eコマース小委員長	○小池 正道	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	竹川 雅祥	(メリルリンチ日本証券)
	○熱田 龍一	(バンク・オブ・アメリカ)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	小川 統也	(モルガン・スタンレー証券)
	○鰐川 義弘	(JPモルガン・チェース銀行)

<準委員>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○内山 一慶	(みずほコーポレート銀行)
○岡林 俊宏	(三菱東京UFJ銀行)
○宮 将史	(日本銀行)

<オブザーバー>

○今村 英章	(財務省)
--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。\*は今月退任・辞任する方。